

平成31年度

3年次編入学学生募集要項

富山大学工学部

目 次

I. 募集学科、募集人員及び入学者の選抜方法……………	1
II. 推薦による選抜……………	1
III. 学力検査による選抜……………	2
IV. 入学手続等……………	4
V. 欠員の補充方法……………	4
VI. 入学時期及び修学条件……………	4
VII. 障害を有する入学志願者の事前協議……………	4
VIII. 留意事項……………	5
IX. 志願者の個人情報保護について……………	5
X. 学科紹介……………	6

I. 募集学科、募集人員及び入学者の選抜方法

学 科	募 集 人 員	選 抜 方 法
電気電子システム工学科	20人	推 薦・学力検査
知 能 情 報 工 学 科		推 薦・学力検査
機械知能システム工学科		推 薦・学力検査
生 命 工 学 科		推 薦・学力検査
環 境 応 用 化 学 科		推 薦・学力検査
材 料 機 能 工 学 科		推 薦・学力検査

II. 推薦による選抜

出身学(校)長の推薦又は職場の所属長の推薦に基づき、学力検査を免除し、調査書及び面接の結果を総合して行います。

1. 出願資格

(1) 一般入試

高等専門学校、短期大学又は大学のいずれかを平成31年3月卒業見込みの者で、人物・学力がともに優れ、出身学(校)長が責任を持って推薦できる者

(2) 社会人特別入試

高等専門学校、短期大学又は大学のいずれかを卒業した者で、平成31年3月末までに同じ勤務先で2年以上在職し、勤務先の所属長が勤務成績・人物ともに優秀と認め、責任を持って推薦できる者

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成30年5月21日(月)～5月25日(金)

受付は午前9時から午後4時までとします。

なお、郵送の場合は書留とし、封筒に「編入学願書在中」と朱書し、5月25日(金)午後4時まで必着とします。ただし、5月24日(木)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

(2) 出願書類等

書 類	摘 要
1 編 入 学 願 書	本学所定の用紙による。
2 写 真 票	本学所定の用紙による。
3 受 験 票	本学所定の用紙による。
4 受 験 番 号 票	本学所定の用紙による。
5 推 薦 書	本学所定の用紙により、出身学(校)長又は所属長が作成し、厳封したもの。
6 卒業(見込)証明書	出身学校所定のもの。 (調査書に記載してある場合は、省略してもよい。)
7 調 査 書	本学所定の用紙により、出身学(校)長が作成し、厳封したもの。
8 返 信 用 封 筒	受験票の送付に使用しますので、長形3号の封筒にあて名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けたもの。
9 住 民 票 の 写 し	居住している市区町村長発行のもので、在留資格が明示されているもの。 外国人志願者のみ提出してください。
10 検定料振込証明書 (検定料30,000円)	本要項に綴り込みの検定料振込書により検定料を振り込み、受領した「振替払込受付証明書」を「検定料振込証明書」にはり付けて提出してください。
11 あ て 名 票	本学所定の用紙による。

(3) 出願書類等の提出先

富山大学工学部事務室(入試担当)

〒930-8555 富山市五福 3190 番地

3. 選抜方法及び選抜期日

選抜は、推薦書、調査書及び面接の結果を総合して行います。

(1) 実施日時

期 日	区 分	時 間
平成30年6月6日(水)	面 接	10:00～

(2) 試験場所

富山大学工学部 (富山市五福 3190 番地)

4. 合格者発表

合格者の発表は、平成30年6月15日(金)午後1時に本学部に掲示し、かつ、本人及び推薦学(校)長又は所属長に通知します。また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト(<https://www.u-toyama.ac.jp/>)の「入試情報」にも掲載します。(本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧することができます。)

【注；電話その他による問い合わせには一切応じません】

5. 推薦入学を認められなかった者の取扱い

推薦による選抜の選考の結果、不合格となった者で、さらに学力検査による選抜を受験しようとする者は、以下の「学力検査による選抜」により出願してください。

Ⅲ. 学力検査による選抜

1. 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (3) 大学を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者
- (4) 大学に2年以上在学(休学期間を除く。)し、62単位以上を修得した者及び平成31年3月末までに同要件を満たす見込みの者(本学在学中の者を除く。)
- (5) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が、1,700時間以上であること。)を満たすものを修了した者及び平成31年3月修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- (6) 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (7) 高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)

注；(5)又は(6)により出願しようとする者は、6月4日(月)までに工学部事務室(入試担当)に必ず問い合わせてください。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成30年6月18日(月)～6月22日(金)

受付は午前9時から午後4時までとします。

なお、郵送の場合は書留とし、封筒に「編入学願書在中」と朱書し、6月22日(金)午後4時まで必着とします。ただし、6月21日(木)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

(2) 出願書類等

書 類		摘 要
1	編 入 学 願 書	本学所定の用紙による。
2	写 真 票	本学所定の用紙による。
3	受 験 票	本学所定の用紙による。
4	受 験 番 号 票	本学所定の用紙による。
5	卒業（見込）証明書 又は在学(期間)証明書	出身学校所定のもの。 (調査書に記載してある場合は、省略してもよい。)
6	調 査 書	本学所定の用紙により、出身学(校)長が作成し、厳封したもの。
7	出 願 資 格 証 明 書	本学所定の用紙による。出願資格(7)による者のみ提出してください。
8	返 信 用 封 筒	受験票の送付に使用しますので、長形3号の封筒にあて名及び郵便番号を明記し、郵便切手362円をはり付けたもの。
9	住 民 票 の 写 し	居住している市区町村長発行のもので、在留資格が明示されているもの。 外国人志願者のみ提出してください。
10	受 験 許 可 書	現在、在職中の者は、所属長の発行したものを提出してください。 (様式任意)
11	検定料振込証明書 (検定料30,000円)	本要項に綴り込みの検定料振込書により検定料を振り込み、受領した「振替払込受付証明書」を「検定料振込証明書」にはり付けて提出してください。
12	出願資格(5)に該当する者	文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が、1,700時間以上であること。）を満たすこと及び大学入学資格を有することを証明する書類を提出すること。
13	あ て 名 票	本学所定の用紙による。

(3) 出願書類等の提出先

富山大学工学部事務室（入試担当）

〒930-8555 富山市五福 3190 番地

3. 選抜方法及び選抜期日

選抜は、学力検査、小論文、面接及び調査書の結果を総合して行います。

(1) 実施日時

学 科	平成30年7月4日（水）			
	9：00～10：30	11：00～12：30	13：30～15：00	15：30～
電気電子システム工学科	数 学	英 語	小 論 文	面 接
知 能 情 報 工 学 科				
機械知能システム工学科				
生 命 工 学 科				
環 境 応 用 化 学 科				
材 料 機 能 工 学 科				

(2) 試験場所

富山大学工学部（富山市五福 3190 番地）

4. 合格者発表

合格者の発表は、**平成30年7月13日（金）**午後1時に本学部に掲示し、かつ、本人に通知します。また、合格者の受験番号を本学のウェブサイト（<https://www.u-toyama.ac.jp/>）の「入試情報」にも掲載します。（本学トップページから入試情報をクリックすると閲覧することができます。）

【注；電話その他による問い合わせには一切応じません。】

IV. 入学手続等

- (1) 合格者は、富山大学工学部長あて「入学確約書」（合格通知書と同時に送付します。）を平成30年7月27日（金）までに提出してください。

「入学確約書」を提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

- (2) 入学手続日、入学手続時に必要な書類及び経費等については、後日（平成30年11月中旬頃）「入学確約書」を提出した合格者に改めて通知します。

（参考）

入学手続時に要する経費

- ① 入 学 料 282,000 円〔予定額〕

なお、上記の入学料は、予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。

- ② その他 学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

（注）授業料の納付について

入学後に納付することとなります。なお、納付金額・納付方法については、入学手続時に案内します。

＜参考＞ 平成30年度授業料 年額 535,800 円

V. 欠員の補充方法

入学手続締切日において、入学手続完了者数が募集人員に満たない場合は、追加合格による欠員補充を行うことがあります。

VI. 入学時期及び修学条件

- (1) 編入学の時期は平成31年4月とし、編入学年は3年次とします。
- (2) 編入学をした者は、本学部にて2年以上在学し、所定の単位数を修得しなければなりません。

VII. 障害を有する入学志願者の事前協議

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、出願の前にあらかじめ本学部へ申し出てください。

また、申し出に基づき協議が必要となった場合は、下記のとおり申請書を提出してください。

- (1) 協議申請の期限

推薦による選抜 平成30年5月16日（水）まで

学力検査による選抜 平成30年6月8日（金）まで

- (2) 協議の方法

協議申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学部において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等と面談等を行います。

- (3) 連 絡 先

富山大学工学部事務室（入試担当）

〒930-8555 富山市五福3190番地
電話 076-445-6701

VIII. 留意事項

- (1) 出願に関する事項その他について郵便で照会するときは、あて名及び郵便番号を明記し、82円切手をはった返信用封筒（長形3号）を同封してください。
- (2) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願書類の提出後における「志望学科」の変更は認めません。
- (4) 「編入学願書」の「連絡先」は、出願書類に関する照会、合格通知、その他緊急の際に必要なので、変更があった場合は、至急、富山大学工学部事務室（入試担当）（〒930-8555 富山市五福3190番地）に届け出てください。
- (5) 推薦による選抜及び学力検査による選抜試験を受けるときは、必ず「受験票」を携帯してください。
- (6) 学力検査による選抜試験において、学力検査及び面接を一部でも受けない者は、選考の対象から除きます。
- (7) 入学許可ののちにおいても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

IX. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援指導関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 合格者についての氏名、住所に限り、関係団体である同窓会、後援会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。

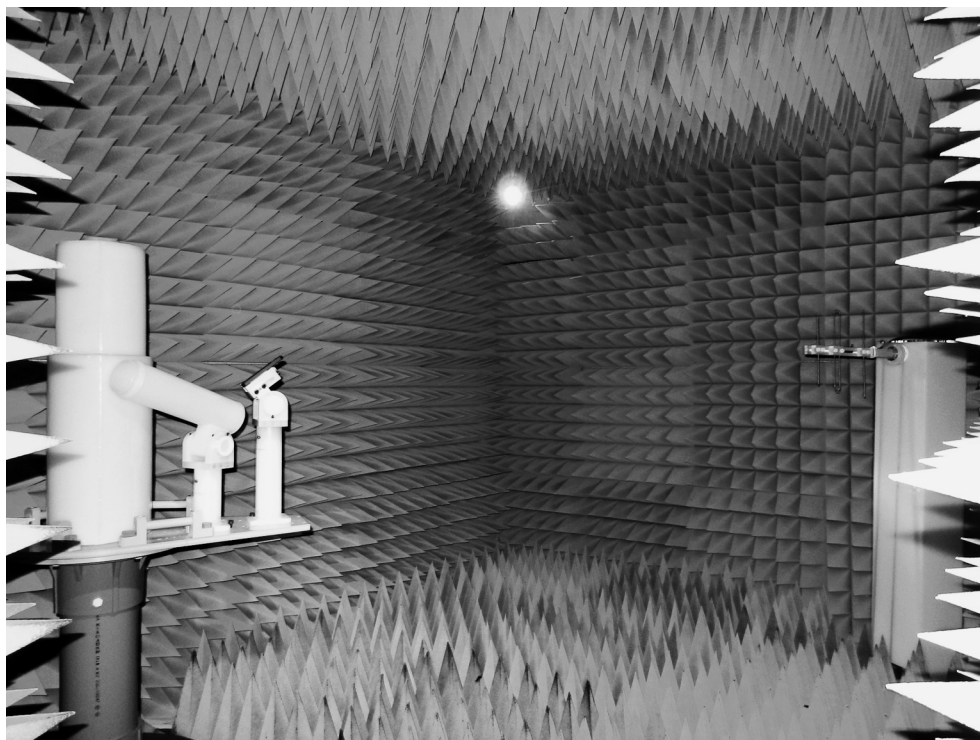
（注）上記団体からの連絡を希望しない場合は、工学部事務室（入試担当）にその旨を申し出てください。

- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

X. 学科紹介

電気電子システム工学科

電気電子システム工学科は、電気システム工学、通信制御工学、電子物性デバイス工学の3つの大きな領域から構成され、電気エネルギーの発生と制御、電気機器・通信・制御機器、電子情報機器技術を支える半導体、誘電体、液晶などの材料・デバイスの開発、生体情報の解明、ロボット、コンピュータによるシミュレーションなどに関する研究体制を整え、21世紀の高度技術社会をリードする優秀な人材の育成を行っています。



携帯電話のアンテナから放射する電波の測定

〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
電 力 シ ス テ ム 工 学	高電圧工学、プラズマ理工学、荷電粒子ビーム工学、核融合理工学、レーザー応用、雷現象観測
エ ネ ル ギ ー 変 換 工 学	電気機器、パワーエレクトロニクス、モータ・アクチュエータ、メカトロニクス、電磁応用、再生可能エネルギー利用、エネルギー変換・制御
先 進 電 力 シ ス テ ム	電力系統工学、最適化計算、電力需要
知 能 ロ ボ ッ ト 工 学	移動自律ロボット、ロボティクスシステム、生体計測ロボティクス
波 動 通 信 工 学	音響工学、音・光・電磁界解析、波動現象応用、数値シミュレーション
通 信 シ ス テ ム 工 学	アンテナ工学、電波伝搬、デジタル伝送方式、画像計測システム
シ ス テ ム 制 御 工 学	システム制御、センサ工学、生体計測、高齢者工学、医用生体工学、神経情報工学
計 測 シ ス テ ム 工 学	バイオセンサ、バイオチップ、バイオエレクトロニクス
極 微 電 子 工 学	半導体、MEMS、分子線エピタキシャル成長、ミリ波・THz波デバイス、集積回路、デバイス作製技術
電 子 デ バ イ ス 工 学	液晶、有機発光デバイス、有機電子デバイス、有機集積回路、薄膜成長、ナノ材料素子、結晶成長、強誘電体素子
有 機 光 デ バ イ ス 工 学	光機能デバイス、電気－光変換、光－電気変換、物性評価

知能情報工学科

本学科では、ソフトウェア、ハードウェア、通信、インターネット、マルチメディア、人工知能、量子情報など情報工学の核となる情報通信技術、ユビキタスネットワーク社会を築くための幅広い科学技術、及び、視覚・聴覚・脳・神経など感覚・認知・感性系における情報処理技術を身に付けた優秀な人材の育成を行っています。

テレビゲームや携帯ゲーム、パソコンやインターネット、MP3 プレーヤや携帯電話やスマートフォンなどの携帯端末、普段の生活の中で、様々な情報機器が使われています。そんな社会を高度情報化社会といい、これからも、一層進歩して行くものと考えられています。この高度情報化社会は情報通信技術によって支えられています。

私たちの暮らしの中に情報通信技術は溶け込んでいますが、まだまだ、様々な要求や要望があり、そして夢もあります。例えば、立体映像(3D技術)はようやく普及し始めたところですし、また、個人情報保護の観点からもセキュリティ技術の重要性は日増しに増すばかりです。夢のような仮想空間の技術も進歩して行くことでしょう。更には、人々とあらゆる物がネットワークで結びつき、人に優しい、心と心が触れ合うユビキタスネットワーク社会に発展することでしょう。そして、量子暗号をはじめとする量子情報の発展により、盗聴のない、安全で安心な社会が実現することでしょう。

また、ヒューマン、生命、脳・神経など感覚・認知・感性系における情報処理技術も、人工知能の発展とともに進んでいます。人工知能を搭載したロボットが実現されるようになりました。ロボットと生活をエンジョイできる、そんな夢のような日も来ることでしょう。

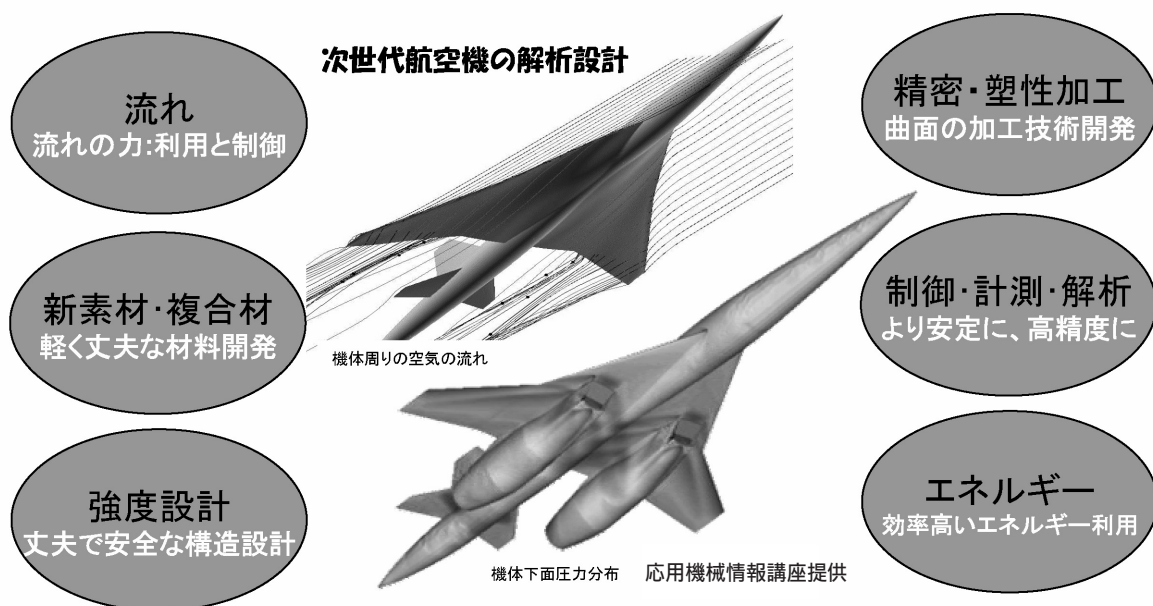


〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
シ ス テ ム 工 学	デジタル信号処理、音声・音楽・音響工学、センサ工学、ソフトウェア工学、医用工学、金融工学
医 用 情 報 計 測 学	医用超音波工学、音響信号処理、画像処理、生体計測、オートマトン、アルゴリズム、パターン認識
メ デ ィ ア 情 報 通 信	マルチメディア情報通信、高度道路交通システム(ITS)、Web 画像処理
シミュレーション工学	物理シミュレーション(波動、流体、プラズマ)、仮想空間、ゲーミング、各種シミュレータ、高速計算(並列計算、GPGPU)
生 体 情 報 処 理	神経系など生体の情報処理、シナプス可塑性、学習、バイオインフォマティクス、視覚情報処理、感性情報工学、夜間(昼間)都市景観工学
情報通信ネットワーク	光信号処理、地震津波など緊急放送信号の伝送方式、変調方式、通信方式、光通信システム、情報通信ネットワークの構成法、通信品質、ソリトン
人 工 知 能	計算機アーキテクチャ、マルチメディア工学、知能情報処理、知覚・認知・感性情報処理
量 子 情 報	量子情報(特に量子暗号等の量子通信)、情報理論、情報セキュリティ、ネットワーク

機械知能システム工学科

今日の社会が機械工学に求めるのは、省力化やすぐれたものの作りにとどまらず、自然や人に優しいもの作りです。価値観は時代とともに変わり、ものが溢れ、品質を求める時代も過ぎ、今は人が本当に必要なものや、人や自然を重要視したものを求める時代になってきています。これに対処するために、従来の機械工学科の基礎的な学問や技術に加え、コンピュータを備えた機械の知能化技術や、人間および環境に優しいソフト化された高度な技術が必要です。またこれらの観点から独創的で創造性豊かな技術をもつエンジニアの育成が必要になってきています。



〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
固 体 力 学	材料力学、弾性力学、トライボロジー（樹脂、ロボット関節）、プローブ顕微鏡（磁場顕微鏡）、構造力学、塑性力学、き裂進展挙動、疲労強度（余寿命評価）
強 度 設 計 工 学	材料強度学、要素設計工学、システム工学、トライボロジー、低サイクル疲労、超高サイクル疲労、超電導、ヘルスマonitoring
機 能 材 料 加 工 学	塑性加工学、機械材料学、押出し加工、マイクロ加工、トライボロジー、最適型設計、生産加工学、切削加工学、精密加工学、研削加工学、ナノ加工
熱 工 学	熱力学、伝熱工学、燃焼工学、内燃機関、熱計測、溶融凝固、熱物性、熱流体シミュレーション、ミスト冷却、熱交換器
流 体 工 学	空力騒音、送風機、自然エネルギー利用、熱交換器、ヒートシンク、気液二相流、温熱環境シミュレーション、境界層制御
知 能 機 械 学	力学、機械力学、機構学、メカトロニクス、制御工学、ロボット工学、ダイナミック・シミュレーション
制御システム工学	制御工学、メカトロニクス、ロボティクス、人間－機械システム、機械学習、スワームロボットシステム、画像計測
機 械 情 報 計 測	計測システム、マイクロセンサ、力覚提示、医用画像解析、画像位置計測、計測ロボット、ロボットビジョン、三次元画像計測、飛行ロボット、インフラ自動点検
応 用 機 械 情 報	数値シミュレーション、計算流体力学（CFD）、格子ボルツマン法、分子動力学、空力設計、超並列高速計算、ナノ・マイクロスケール解析

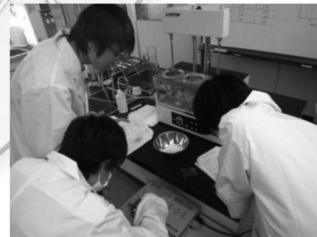
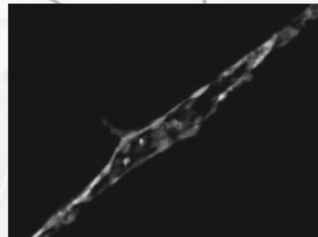
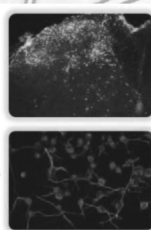
生命工学科

21世紀、少子高齢化を迎える社会では、人々が安心・安全・幸福に生きられる健康長寿社会の実現が重要なキーワードとなっています。生命工学科では、生物学、化学、物理学、数学を基礎として、生命科学の基礎的な知識を学び、遺伝子工学、細胞工学などのバイオテクノロジー、医療や健康・食品産業で活躍するバイオ計測や医用工学、医薬品をはじめとする有用物質の創出から製造・生産に至るまでの工学技術を学びます。ものづくりを通して、広く社会に貢献する研究者、技術者の育成を行っています。



**生命活動や病気の仕組みを学び、
それらを活用する工学技術を身につけて、
ものづくりで健康社会に貢献しませんか？**

**in vitro(細胞)から
in vivo(動物実験)まで
幅広く、奥深く**



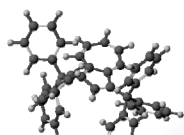
〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
遺 伝 子 工 学	遺伝子工学、抗体医薬、ヒトゲノム解析、疾患関連遺伝子、認知症、がん・白血病
生 体 情 報 薬 理 学	薬理学、遺伝子工学、慢性疼痛、神経精神疾患、創薬
生 物 化 学	酵素、薬物代謝、変異原物質、生物有機化学、クロマトグラフィー、放射線
生 命 電 子 電 気 工 学	酵素センサ、細胞センサ、医療検査、医薬品検査、電界配向、細胞の交流動電現象
脳・神経システム工学	行動神経科学、学習、記憶、認知症、Brain-Machine Interface
生体システム医工学	生体医工学、生体計測、医療機器、人工臓器、再生医工学
医用材料プロセス工学	バイオマテリアル、組織工学、薬物伝達システム、化学工学による医工学研究
生 物 反 応 工 学	生体触媒、生物生産、代謝工学、生理活性物質、バイオマス、バイオリファイナリー
タンパク質システム工学	タンパク質分解、タンパク質工学、生物物理、タンパク質フォールディング
生体機能性分子工学	有機合成化学、創薬化学、新規作用機序に基づく医薬品開発研究、天然物の全合成
プロセスシステム工学	プロセスモニタリング、プロセスモデリング&シミュレーション、プロセス設計&制御

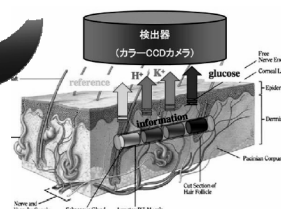
環境応用化学科

本学科は、地球環境を維持しながら、人類の生活を豊かにする物質を創造し、化学の基礎知識と理解力を駆使して環境調和型社会で活躍できる、「ものづくり」のリーダーの育成を目指します。限りあるエネルギー資源の有効利用や、新たなエネルギー源の開発を行うと共に、悪化し続ける地球環境の改善を図る革新的な技術の開発をめざす未来志向型の人を育てたいと考えています。

物質を設計する・創る



工業的に利用する



物質を観る・調べる

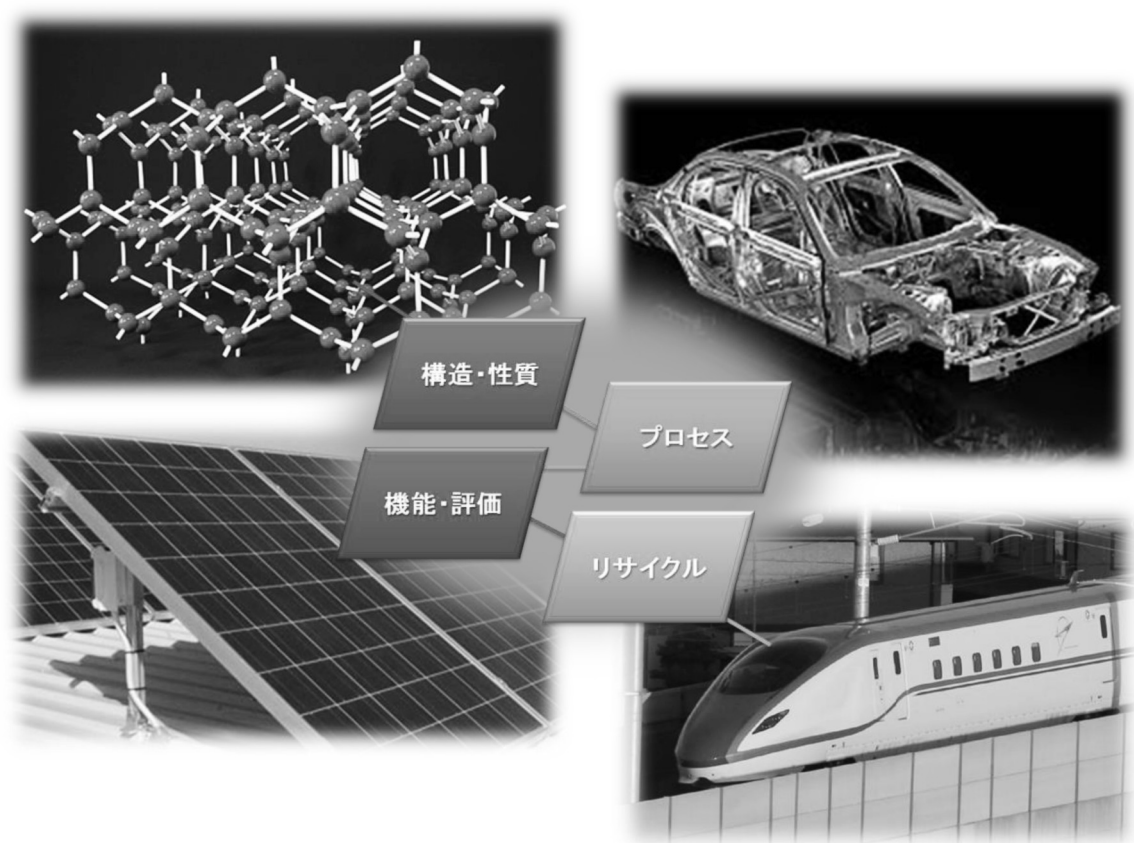
身近に利用する・試す

〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
触媒・エネルギー材料工学	触媒化学、エネルギー、化学工学、燃料化学、C 1 化学、合成燃料
環 境 機 能 分 子 化 学	機能高分子、環境化学、環境分析、廃棄物処理、表面改質、分光分析、分離膜
精 密 無 機 合 成 工 学	無機化学、錯体化学、分子固体化学
生 体 物 質 化 学	生物化学、タンパク質工学、分子シャペロン、タンパク質凝集
計 算 物 理 化 学	計算化学、量子化学、溶液界面化学
環 境 分 析 化 学	分析化学、オプティカルセンサ、電気化学センサ、生体内環境分析、分子認識化学
コ ロ イ ド 界 面 化 学	物理化学、微粒子分散系の化学、界面電気化学
有 機 合 成 化 学	薬品化学、天然物合成化学、有機金属化学
環 境 保 全 化 学 工 学	環境プロセス工学、化学工学、流動層応用技術、廃棄物利用
生 体 材 料 設 計 工 学	バイオマテリアル、再生医工学、生体高分子化学、タンパク質工学、生体材料化学

材料機能工学科

材料機能工学科では、私たちの身近にあるいろいろな製品の元となる素材、つまり材料（金属、セラミックスから樹脂・バイオ材料まで）に関する教育を行っています。授業においては、日本の基幹産業である鉄鋼・非鉄・セラミックスなど各種材料のシミュレーションによる予測・創造から、その製造プロセスの開発、ナノ組織・機能・物性の各制御、材料加工、環境問題・リサイクル、バイオ材料との融合に至るまで、「材料を創造し、利用し、リサイクルする」といった材料の一生を通した材料工学を学びます。当学科は2018年度より都市デザイン学部材料デザイン工学科へと改組を行いました。



〈教育研究内容一覧〉

教育研究分野名	教 育 研 究 内 容
素 形 制 御 工 学	溶解、鋳造、凝固、素形材、マグネシウム軽金属材料
組 織 制 御 工 学	ナノ組織、非鉄金属、軽量合金、高信頼性アルミニウム合金、複合材料
機 能 制 御 工 学	セラミックス、薄膜、金属材料、熱特性、エレクトロニクス
物 性 制 御 工 学	磁性、超伝導、極低温材料、機能性金属間化合物
環 境 材 料 工 学	表面化学、腐食・防食、材料電気化学、応力腐食割れ、表面改質
材 料 プ ロ セ ス 工 学	接合、結晶界面、熱物質流体工学、塗布膜製造技術、可視化計測
鉄 鋼 材 料 工 学	高機能鉄鋼材料、高温プロセス、リサイクル、高純度・高清浄化
計 算 材 料 学	材料科学、材料シミュレーション、第一原理計算、材料機能予測

富山大学工学部のホームページのURLは次のとおりです。

<http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/>

学科紹介のホームページのURLは次のとおりです。

電気電子システム工学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/ee/
知能情報工学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/ii/
機械知能システム工学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/mi/
生命工学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/ps/
環境応用化学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/ec/
材料機能工学科	http://enghp.eng.u-toyama.ac.jp/department/choice/ms/